



2005・2・18

第27号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

草の根の「会」が世論動かす力に

マスコミにも広がり反映

昨年6月、「九条の会」が発足したとき、多くのマスコミがこれを無視ないし軽視しました。各地で「会」が結成され運動が広がるにつれ、マスコミのこうした姿勢にわずかながら変化の兆しがあらわれています。

1月22日、23日にNHKがおこなった九条に関する特別番組では、「九条の会」のメンバーとして大江健三郎さん、加藤周一さんが登場、改憲論を明解に批判、視聴者から「説得力があった」との感想が寄せられています。また、朝日新聞（大阪本社、2月12日）は、「『九条の会』続々」「職場で地域で…全国草の根千超」の見出しで、滋賀県彦根市の「会」結成のつどいとあわせて長野・信濃町や高知県の活動、「映画人の会」、「医療人の会」なども紹介しています。

地方マスコミの変化はもっと顕著で、地方の「会」の結成や活動のまようを紹介する地方紙が少なくありません。「九条の会」が開いてきた、大阪、京都、仙台、札幌、沖縄などの講演会が、NHKや地方紙で報道されています。今後開かれる講演会についても、その記者発表のまようを神奈川テレ

ポスター増刷できました

「九条の会」ポスターは在庫切れとなりご迷惑をかけていましたが、増刷され、2月17日から発送をおこなっています。

学習ブックレットは23日完成

「九条の会」の学習ブックレット『自民党改憲案の検討—九条と「戦争する国」』が2月23日完成します。内容は「自民党・憲法改正草案大綱（たたき台）を叩く」（小沢隆一・静岡大学教授）、「あなたが語る日本国憲法」（小森陽一・東京大学教授）。A5判68頁。1部400円（〒180）10部以上割引あります。

ビ、中国新聞などはさっそく紹介しました。

国政の最大の焦点となっている問題について、日本の良識を代表する人びとのよびかけを無視すること自体、こんにちの巨大マスコミの「偏向」体質を示すものです。しかし、各地の運動が広がるにつれ、読者・視聴者の声をわずかながら反映させざるを得なくなっているものといえます。

なお、韓国文化放送（MBC）が「九条の会」の横浜講演会や講師への取材を申し

入ってくるなど、海外からの取材要請も寄せられるようになっていきます。

アピールの学習を深めながら

【兵庫・青垣】 私たちの会は **2004 年 10 月 27 日** に発足しました。現在、会員は **71 名**、毎月 9 日に例会を開き憲法学習をおこなっています。

2 月例会は「九条の会」アピールのはじめに「戦争放棄と戦力をもたない…世界の市民の意思を実現しよう」と決心しました」と書かれた意味を考えました。国際連盟、不戦条約、国際連合と続く世界の不戦の誓いを受け止めました。

3 月例会は「九条の会」アピールの次の段落、改憲の動きとその意図を学習します。

青垣町は昨年合併し、丹波市になりましたが、旧青江町の有権者の過半数 3 千名を越す会員をめざしています。

【秋田・能代市】 2 月 **13 日**、70 人の参加で、「九条の会アピールに賛同する能代山本の会（略称・能代山本の九条の会）」を設立しました。

地元から 5 人の方々に、憲法への思いをリレートークしてもらいました。キリスト教者、主婦、戦争体験者、高校生をもつ母親、敗戦時小学生だった方です。秋田市の弁護士、橋場丈俊さんに憲法について話をさせていただきました。

月 1 回、「九条の会」の情報を読んだり、学習会を計画しています。また、アピールに賛同する署名に取り組みます。

【埼玉・草加市】 「九条の会・草加」の発足会が、**2 月 13 日**、**88 人**の参加で開かれました。

「九条の会」アピールに答えてつくられ

た準備会は、オリジナルTシャツやカンパuzziなどの「憲法グッズ」の普及、通信「青い鳥しんぶん」などの発行で賛同を広げる取り組みをおこない、現在、会員は百人を超えています。参加者は、「現憲法のもとで育ってきたが、憲法を学習する機会はありませんでした。世の中を正しく見られるように『会』に参加しました」と語っています。「それぞれの人たちの自発的な運動を促進する『会』」にすることを確認し、**30 人**の運営委員を決めました。

【銀行関係者】 2 月 **12 日**、「銀行『九条の会』のつどい」が開かれました。「銀行で働く私たちも平和の声をあげよう」と実行委員会をつくって準備してきたもので、約 **200 人**が参加しました。

「つどい」では、女性有志の訴えや俳優座団員の連帯のあいさつのあと、浜林正夫・一橋大学名誉教授が記念講演をおこないました。

分野別賛同者名簿⑧

【文学】 92人

青木はるみ(詩人)、赤瀬川隼(小説家)、秋村宏(詩人)、浅井薫(詩人)、浅尾忠男(詩人)、梓志乃(歌人)、阿刀田高(作家)、池澤夏樹(作家)、池田香代子(翻訳家)、伊佐千尋(作家)、石牟礼道子、伊豆利彦(横浜市立大名誉教授)、磯村英樹(日本文芸家協会・日本現代詩人会会員)、一海知義(神戸大学名誉教授)、井出孫六、茨木のり子(詩人)、岩崎京子(児童文学者)、岩田正(歌人)、岩淵達治(学習院大学名誉教授)、いわむらかずお(絵本作家)、碓田のぼる(歌人)、永六輔、江藤文夫(評論家)、海老名香葉子、大岡信(詩人)、大久保昭男(イタリア文学)、大城立裕(作家)、大塚英

志(まんが原作者)、尾形竹(国文学者)、岡部伊都子、落合雄三(栃木県文藝家協会会長)

紀田順一郎(評論家)、木下順二(劇作家)、金石範(作家)、久々湊盈子、草川八重子(作家)、黒田杏子(俳人)、小市巳世司、高史明(作家)、小海永二(詩人)、後藤竜二(児童文学作家)、小中陽太郎(日本ペン理事)、小森香子(詩人)、小森陽一(東京大学教授)

西郷信綱(日本文学者)、財部鳥子(詩人)、早乙女勝元(作家)、阪下圭八(東京経済大学名誉教授)、佐相憲一(詩人)、佐野洋(作家)、敷地あきら(新俳句人連盟会長)、芝憲子(詩人)、清水眞砂子(児童文学者、短大教員)、下重暁子(作家)、白石かずこ(詩人)、新船海三郎(文芸評論家)、杉みき子(児童文学作家)、鈴木道彦(フランス文学者)、宗左近

太宰瑠維(歌人)、田中優子(法政大学教授)、寺島アキ子(劇作家)、土井大助(詩人会議運営委員長)

中正敏(詩人)、永井潔(画家)、中平まみ(愛犬小説家)、中村泰行(文芸評論家)、那須正幹(児童文学作家)、なだいなだ(老人党提案者)、西田勝(文芸評論家)

灰谷健次郎、萩谷朴(大東文化大学名誉教授)、朴慶南(作家)、橋本喜典(歌人)、長谷部儀治(作家)、秦恒平(日本ペンクラブ理事、小説家)、馬場あき子(歌人)、古田足日(児童文学者)、北條元一(ドイツ文学者)

増岡敏和、松田解子(作家)、松谷みよ子(作家)、水谷章三(日本民話の会事務局長)、宮寺清一(作家)、毛利三彌、森与志男(作家)、森村誠一(作家)、梁石日(作家)、吉沢和夫(日本民話の会運営委員)、吉沢久子、吉原公一郎(作家)、李恢成(文筆業)

【医師・医学者】 23人

蒔昭三(全日本民医連名誉会長)、有吉孝

雄(京都第二中央病院健康友の会会長)

川崎美榮子(保団連副会長)、岸田綱太郎(核兵器廃絶医師の会京都代表・京都府立医科大学名誉教授)、城戸良弘(大阪大学大学院医学研究科教授)、小林勇(医学博士)

鮫島千秋(全国保険医団体連合顧問)、清水正嗣(大分医科大学名誉教授)、住江憲勇(大阪府保険医協会理事長)

高久隆範(全国保険医団体連合会副会長)、竹田正史(全国保険医団体連合会副会長)、土山秀夫(元長崎大学長)、哲翁昭邦(内科医)、野末悦子(コスモス女性クリニック所長)

肥田泰(全日本民医連会長)、福地保馬(藤女子大学大学院人間生活学研究科教授)、堀口雅子(性と健康を考える女性専門医の会)、堀場英也(全国保険医団体連合顧問)

牧野忠康(日本福祉大学教授)、室生昇(全国保険医団体連合会会長)、毛利子来(小児科医)、山田真(小児科医)、若月俊一(佐久総合病院名誉総長)

【マスコミ】 16人

天野祐吉(コラムニスト)、大石芳野(フォトジャーナリスト)、大谷昭宏(ジャーナリスト)、大山哲、岡本厚(『世界』編集長)、亀井淳(ジャーナリスト)、斎藤貴男(ジャーナリスト)、島森路子(「広告批評」編集長)、関千枝子(女性ニューズ)、茶本繁正(ジャーナリスト)、原壽雄(ジャーナリスト)、広河隆一(フォトジャーナリスト)、増田れい子(ジャーナリスト)、松居直(福音館書店相談役)、森住卓(フォトジャーナリスト)、吉田ルイ子(フォトジャーナリスト)